

令和元年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」
選考結果について

令和元年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」
選考結果について

体育学校安全課

1 事業の概要

(1) 目的

本事業は、中学校の全国大会等で活躍できる競技者を育成するため、徳島県中学校体育連盟に加盟する実績のある競技専門部を指定し、競技力の向上を図ることを目的とする。

また、高校の「NE0徳島トップスポーツ校強化事業」と連携し、中学校での強化活動を高校へつなげることで、本県の競技力の向上を中・長期的な展望に立って、計画的・継続的に推進する。

(2) 選考委員会

①期日 令和元年5月22日(水) 県立総合教育センター 研修室2

②評価の観点

「申請書評価」(50点)

- ・ 指定を受けようとする理由
- ・ 強化計画
- ・ 競技団体との連携及び支援
- ・ 競技実績
- ・ 今年度の事業計画

「プレゼンテーション評価」(50点)

- ・ 指定を受けようとする理由
- ・ 今年度の強化計画
- ・ 事業に期待する効果
- ・ 総合(意欲・熱意等)

2 選考結果

陸上競技, 弓道, 柔道, バスケットボール, ソフトボール, 剣道, 新体操の
7競技に決定 [※実績(全国)は, 過去3ヵ年(H28~30年度)を記載]

競技専門部	指 定 理 由
陸上競技	<p>県陸協の強化システムに沿った選手強化を実施し、毎年全国で戦える選手を育成している。体力・技術力の向上以外に、チーム力の向上、コミュニケーション力の向上など、組織づくりや人間形成として長期的な展望で選手の育成を図っている。</p> <p>・実績[全国] [H28] 男子ジャベリックスロー優勝 女子1500m 5位 [H30] 男子走幅跳 5位 男子100m 8位</p> <p>・主な進学先 徳島科技高校, 徳島市立高校, 富岡東高校</p>
弓 道	<p>昨年度は全国大会で女子団体3位, 個人4位の好成績を残している。弓道連盟から指導者を派遣し、技術指導などの支援が受けられるバックアップ体制が整っている。インターハイ・国体で活躍する選手の育成も視野に入れ、中・高の連携ができています。</p> <p>・実績[全国] [H29] 女子団体優勝 女子個人2位 [H30] 女子団体3位 女子個人4位</p> <p>・主な進学先 徳島市立高校, 徳島北高校, 徳島科技高校</p>

競技専門部	指 定 理 由
柔 道	<p>毎年、全国大会で活躍する選手育成ができています。数年にわたる継続的な強化練習が計画されており、高体連や県柔道連盟との連携・支援体制が整っている。国際大会で活躍する県出身選手を生み出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績[全国] [H29]女子57kg級5位 [H30]女子70kg級3位 ・主な進学先 阿波高校 板野高校
バスケット ボール	<p>昨年度、全国大会で阿南中男子がベスト16、一昨年度には、県男子選抜チームがベスト4という実績を残している。世代別強化を図り、今年度の茨城国体で入賞をめざし、ターゲットエイジとして現在の中学3年生の強化にも努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績[全国] [H28]男子ベスト8、県男子選抜ベスト8 [H29]男子ベスト8、県男子選抜ベスト4 [H30]男子ベスト16 ・主な進学先 海部高校、徳島市立高校、城東高校、
ソフトボール	<p>近年の都道府県対抗の全国大会では、上位入賞を果たしている。県ソフトボール協会との連携がされており、計画的な強化策が行われている。選手獲得に向けて、ジュニア層への働きかけや高校との連携が行われ、今後の活躍が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績[全国] [H28]県男子選抜3位 [H29]県男子選抜ベスト8 [H30]県男子選抜ベスト8 ・主な進学先 徳島科技高校、城南高校
剣 道	<p>全国剣道大会、女子個人で、上位入賞を果たしている。夏季錬成大会や長期育成訓練で基本錬成を行い、基礎技能の向上を図っている。県外強豪校との合同練習や錬成会に参加することで、選手・指導者ともに交流を図り、全国を意識した取組につなげている。初心者から上級者まで、幅広い育成をめざし、今後の活躍が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績[全国] [H28]女子個人ベスト8 [H29]女子個人3位 [H30]女子個人2位 ・主な進学先 徳島北高校、阿南光高校、富岡西高校、富岡東高校
新体操	<p>過去10年以上にわたり、全国大会で好成績を残している。ジュニアクラブ、県内高校との連携が図れており、ジュニアから育成した選手が高校へとつながる道筋が根付いている。その結果、日本代表候補者として強化選手に選ばれ、2020オリンピックに出場が期待される選手が育っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な進学先 富岡西高校